

【経営に役立つ管理会計講座】

ソフトウェアビジネスの管理会計実務

～収益認識、原価計算、資産計上と減価償却の方法、ビジネス形態ごとの利益管理手法を平易に解説～

●日 時● 2015年 3月 11日(水) 10:00～17:00

●会 場● 東京・麹町『企業研究会セミナールーム』

講 師

太陽有限責任監査法人

パートナー 公認会計士 柴谷 哲朗 氏

【経 歴】1991年中央大学商学部卒業。1998年公認会計士登録。中央青山監査法人を経て、太陽有限責任監査法人に所属。平成20年8月にパートナーに就任し、現在に至る。ソフトウェアをはじめ、コンテンツ等の会計実務を専門としている。
【著 書】「ソフトウェアビジネスの会計実務」(共編著、中央経済社)、他論文多数。

◆ 開催にあたって

本講座は、経営に役立つ管理会計講座として、ソフトウェアに関する一連の会計実務について整理し、体系的に学ぶことができるプログラムです。

主にソフトウェア取引の収益認識、ソフトウェアの制作費用に関する会計処理（ソフトウェアの資産計上や減価償却の方法等）、ソフトウェアビジネスの形態ごとの利益管理の手法等を詳しく解説いたします。また、ソフトウェア取引の税務上の取扱いについても関連する事項についても説明いたします。

日々の実務で生じる課題解決の機会として、本講座をぜひご利用ください。

《詳細は裏面をご覧ください》

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

*当会ホームページ (<http://www.bri.or.jp>) からもお申込みいただけます。

●受講料● 1名(税込、昼食代、資料代含む)

正会員	37,800円	本体価格 35,000円
一般	41,040円	本体価格 38,000円

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてにFAXいただくか、当会ホームページからお申し込みください。

後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

●申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきますことでもありますので、ご了承下さい。

一般社団法人企業研究会

担当：薄井 E-mail usui@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 31MT ビル 2F

TEL 03-5215-3516 FAX 03-5215-0951

141757-0606(※)		2015.3.11	
[申込書] ソフトウェアビジネスの管理会計実務			
会社名	フリガナ		
住 所	〒		
TEL		FAX	
ご氏名	フリガナ	所 属	
		役 職	
E-mail			
ご氏名	フリガナ	所 属	
		役 職	
E-mail			

*お客様の個人情報、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

ソフトウェアビジネスの管理会計実務

● プログラム ●

■講師： 太陽有限責任監査法人 パートナー 公認会計士 柴谷 哲朗 氏

10:00

I. ソフトウェア取引の制度会計

1. ソフトウェア会計に関する制度概要
2. 会計制度委員会報告第12号

「研究開発費及びソフトウェアの会計処理に関する実務指針」の解説

3. 実務対応報告17号

「ソフトウェア取引の収益の会計処理に関する実務上の取り扱い」

(企業会計基準委員会)の解説

12:00

4. 企業会計基準第15号「工事契約に関する会計基準」の解説

昼食休憩

13:00

II. ソフトウェアの収益認識に関する会計実務

1. 様々なソフトウェア取引の種類
2. 受注制作ソフトウェアの売上計上に関する会計実務
3. 受注制作ソフトウェアにおける工事進行基準の会計実務
4. 市場販売ソフトウェアの売上計上に関する会計実務
5. ソフトウェアを利用したサービス提供取引(クラウドサービス)の売上計上に関する会計実務

III. ソフトウェアの制作費用に関する会計実務

1. 資産性の判断基準
2. 原価の範囲と間接費の取扱い
3. 受注制作ソフトウェアの原価計算の実務
4. 市場販売目的のソフトウェアの原価計算の実務(研究開発費の会計実務)
5. 機器組み込みソフトウェアの原価計算の実務
6. サービス提供目的のソフトウェアの原価計算(資産計上の範囲)の実務

IV. ソフトウェア制作ビジネスにおける利益管理の手法

1. 受注制作ソフトウェアの利益管理手法
2. 市場販売ソフトウェアや機器組み込みソフトウェアの利益管理手法
3. ソフトウェア制作企業が目指すB/Sマネジメント

17:00